地域の教育資源を活用した単元開発　～学びのすべを活用した探究のプロセスを通して～

“知と人間性” を育む
学びのすべを活用した探究のプロセス

振り返り

第５学年　総合的な学習の時間

ぼくは，ふるさと愛が高まっていると思います。理由は，２回のインタビューを通して，たくさんの観光客の方が「尾道のことが好き」ということを知り，自分の住んでいる尾道の魅力をもっと探したくなったし，今までよりも尾道のことが好きになったからです。

振り返る　比べる

自己の成長の自覚

長江小学校で育てたい資質・能力を意識した学習を行うことで，振り返りの場面では，ふるさと愛（郷土愛）が高まったことを自覚した振り返りを行うことができた。

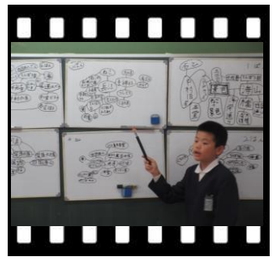
情報の収集

関係づける　分類する

４年生からの新たな情報（視点）の獲得

自分達が整理した情報に加え，４年生から得た新たな情報を経験や学習をもとに，二つの観点で分類し，課題解決のための糸口につなげた。

第３学年　総合的な学習の時間
「長江っ子弟子入り体験プロジェクト
～本当の“長江のたからもの”とは～」



第４学年　総合的な学習の時間
「尾道再発見～日本遺産に認定された
我がふるさと～」

課題の設定

比べる

保護者の思いと自分達の思いとのズレ

「家族を笑顔にする」を単元のゴールとして，自分達にできることを考えて実践し，達成感を味わうことができた。実践後，自分達の感想と保護者の感想を比べてみると，両者に「ずれ」があることに気付き，「１００％の笑顔にするためにはどうすればよいだろうか。」という課題を設定することができた。

第１学年　生活科
「おしごとがんばりたい」

整理・分析

比べる　分類する　関係づける

真の課題設定へとつなげる

布野小学校４年生からの感想をもとにして，満足できなかった点に着目し，自分達の課題が何だったのか気付くことができた。改めて，課題を解決しようと考えていく中で自分達の思いと相手が求めていることが合致し，真の課題を設定することができた。

比べる　分類する

追究する課題の焦点化

児童はベン図をもとに，比べるすべと分類するすべを活用して思考し，小林和作を深く知るために必要な視点を探ることができた，それらの探究の過程を振り返る中で，小林和作に対する自分達の思いが変容し，自分達が追究する課題を焦点化することができた。

第６学年　総合的な学習の時間
「尾道愛　小林和作，地域の方々の生
き方に学ぶ～自分の生き方に語りかけよう～」

かかわる

実行

関係づける　比べる　分類する

課題の解決策を再構成し実行する

学びのサイクルを２回転させ，よりよいガイドを目指して，１回目のインタビューの後，分類するすべを活用して，新たな課題を明らかにした。２回目のインタビューでは，観光客のニーズに応えるために必要なものが何か自分たちの考えを再構成し，尾道や長江のよさが伝わるようなガイドを行うことができた。

第５学年　総合的な学習の時間
「わがふるさとおのみちのすばらしさ PR 大作戦
～ また来たい尾道を目指して ～」

まとめ・創造・表現

関係づける　比べる

課題の改善策を練り合う

地域の方から聞き取った「米作りで困っていること」をもとに，地域の方の困り感を減らすための工夫や改善をかかしづくりに反映することができた。

第２学年　生活科
「レッツゴーまちたんけん」

単元において育てたい資質・能力を明確にし，探究の過程で，どの学びのすべを児童に使わせれば資質・能力の育成の向上につながるか，焦点化し，指導しています。